

平成 28 年度事業報告

〔自 平成 28 年 4 月 1 日 ～ 至 平成 29 年 3 月 31 日〕

〔ミッション〕

横須賀市の都市像「国際海の手文化都市」の実現を支援するために、市民の国際感覚を高め、市民レベルの多文化共生社会をめざす国際交流事業を推し進めます。

- 【1】 自国の文化を知るとともに、多様な文化への理解を深め、多文化共生の街づくりをめざす。
- 【2】 すべての人々の人権が尊重され、一人ひとりが大切にされる社会づくりに貢献する。
- 【3】 各人がもつ能力や経験を生かし、明るく楽しいボランティア活動ができる場をつくる。

〔事業概要〕

- 【1】 会員を大切にされた協会運営を心がけ、ミッションの実現をめざし、一つひとつの事業を遂行した。
- 【2】 会員のボランティア参加登録を積極的に勧めると同時にボランティアが活動しやすい環境作りに努め、ボランティア活動の裾野を広げた。
- 【3】 会員相互の交流を深めると同時に、会員のみならず広く市民に対しても国際交流を行なう機会を提供するように努めた。
- 【4】 市民生活の安全を第一としてとらえ、特に外国籍市民の防災意識の啓発及び災害発生時の安全確保が行える体制を整備するよう市民と一体になって努力した。
- 【5】 認定及び市の指定資格取得により、寄付金獲得の活動を実施した。

I 運營業務

(1) 会議体

① 理事会

4月18日(月)臨時理事会(総会提案事項の最終審議)、5月21日(土)臨時理事会(新理事長の選出および新理事担当業務について)、10月3日(月)定例理事会(29年度予算案審議)、1月16日(月)運営委員会・理事会の合同会議、3月27日(月)運営委員会・理事会の合同会議(総会での審議事項他)を実施。

② 運営委員会

協会の運営に関する事項を審議し重要事項については理事会への提案内容を纏めその承認を求めた。28年度は3回開催。

③ 事業執行委員会

理事、執行責任者、事業部門代表者など18名が参加、事業執行の円活化を図ると共に事業の運営管理を行なった。28年度は4回開催。

④ 総会

5月21日(土)、第14回通常総会開催。

会場出席者21名、議決権行使による出席者174名の審議により、27年度事業報告及び27年度

決算報告、28年度事業計画及び活動予算に関して提案通り可決された。

(2) 認定資格取得と横須賀市の指定資格取得による義務業務

- ① 年度事業終了後、県NPO事務局及び横須賀市に、所定の書式に基づき、その事業年度の事業報告を作成し報告。
- ② 定められた書類を作成し、閲覧希望者に対する公開措置を実施した。
- ③ 法人の情報公開性を高める為、定められた書式にてホームページ上に公開掲載した。
- ④ コンプライアンス（法令遵守）を徹底した。
- ⑤ 寄付者に対して、税額控除の必要書類を交付した。

(3) 情報提供

- ① 情報紙発行
ニュースポット：7月に62号、1月に63号発行 部数は62号、63号ともに1,700部
- ② メールマガジンで月1回の情報提供
会員に対して事業活動の案内やボランティア活動への参加・協力をお願いなどを速やかに連絡し、メールによる情報提供をタイムリーに行った。
メールアドレスの無い希望者には、FAXや郵送で同じ情報を提供した。
- ③ ホームページによる情報提供
ホームページの内容充実とメンテナンスを随時行い、常に新しい情報の提供を行った。

II 自主事業

(1) 国際協力支援事業

- ① 窓口翻訳
外国人、市民などから窓口にて依頼を受けた、戸籍謄本、結婚証明書、出生証明書などの行政書類の翻訳を行い、28年度は合計170件の実績であった。
- ② 通訳・翻訳
横須賀市、企業などからの依頼による通訳・翻訳業務を行った。
通訳17件、翻訳9件
- ③ 英語ガイドツアー
第1回 4月2日（土）走水（雨天のため中止）
第2回 6月18日（土）しょうぶ園 参加者24名（内外国人9名）
第3回 10月15日（土）荒崎&ソレイユの丘 参加者26名（内外国人6名）
第4回 2月11日（土）猿島 参加者24名（内外国人11名）
- ④ 国際貢献 フェアトレードコーヒー販売（決算数値）
国際貢献の一環として、フェアトレード取扱商品であるネパールコーヒーを販売した。
・事務所での袋売り：100,000円
・イベントでの販売：116,078円（JFY・日本文化体験・懇親会・ボランティア交流会）
合計額：216,078円

⑤ 商工会議所パートナー事業

商工会議所との連携を基に、関連する情報を共有化し、積極的にパートナー事業に協力した。このパートナー事業も4年を経過し、商工会議所の信頼も高く、大きな成果を上げているので、さらに連携を強化して業容の範囲拡大をすすめる。

⑥ 商工会議所幹旋の上町連合商店街出前英会話教室

商工会議所の幹旋により、上町商店街の会館で「店頭英会話教室」を開設して2年が経過した。常時10名～15名の参加で非常に好評であり、この輪を他の商店街にも広げ、外国人来店誘致につなげていきたい。また、平成28年4月からは、新たに汐入整骨院 横須賀鍼灸院で、接客英語の習得を目的に、出前英会話教室が行われている。

⑦ 商工会議所との共催「おもてなしプロジェクト」

横須賀市に來訪する外国人客・米海軍横須賀基地勤務の外国人に対する買い物情報・観光情報の提供による市内各地への誘導とアドバイス。

市内2か所にコンシェルジュを常時設置し外国人に対する情報を提供した。

- ・期間 平成29年2月1日～2月28日 (28日間)
- ・場所 横須賀中央ポイント事務所。リドレ横須賀1階フロア

(2) 国際協力交流事業

① 世界の料理教室

世界各国の講師による家庭料理に親しみながら様々な国の生活・文化・習慣などを学び、国際理解の推進を図った。

第1回	6月14日(火)	: 菓膳料理・日本 (石渡千代氏)	参加者 24名
第2回	9月13日(火)	: ネパール (サントス・シュレスタ氏)	参加者 21名
第3回	12月6日(火)	: 韓国 (小山小百合氏)	参加者 26名
第4回	2月14日(火)	: フィリピン (ヘイゼル・ボッシィ氏)	参加者 27名

(3) 国際協力啓発事業

① 外国語講座

外国人とのコミュニケーションの基礎手段である外国語、とりわけ市民のボランティア活動に必要な高い英会話をはじめ、韓国語、中国語など多文化共生社会を視野に入れた外国語講座も開催した。昨年に引き続き、高校生英会話及び夜間英会話講座も開催した。

1 学期 : 講座数 18 クラス、講師数 10 名、生徒数 183 名

2 学期 : 講座数 18 クラス、講師数 10 名、生徒数 182 名

3 学期 : 講座数 16 クラス、講師数 8 名、生徒数 176 名

出前英会話講座 ハッピープリスクール、3月(週1回)

② ボランティア研修会

ホストファミリー希望者を対象に、ホームビジットの受け入れ方法や、市内在住の外国人との交流をテーマにした座学と、「ソバ打ち体験」をおりこみ、3回実施した。

市民モニターは14組22名・外国人は8か国13名であったが、外国人参加者は突然の

キャンセルが多く、運営に支障をきたす場合があったが、交流会・ソバ打ち体験共に笑顔が溢れ楽しんでいた。

(4) 自主活動

① ボランティア交流会

・4月9日(土)講演会

第1部 被災地訪問報告「つるし雛報告」 真汐優子氏(協会理事)

第2部 「東日本大震災からの気仙沼復興の現状」と「ネパール大震災の被災地訪問」報告
講師 小野寺晶氏

参加者 50名

② ホームステイ

今年度はなし

③ 国際理解講座

横須賀市内の小・中・高校・大学の学校現場や公的な施設からの依頼により外国人講師を派遣し、国際理解講座を開催した。

外国人講師からその国の民族、文化、歴史、遊び、スポーツ、言語などについて、時には民族衣装などの実物を用いたり、パソコンで映像を見せたりしながら講義をしてもらった。

・派遣件数 24件(ボランティア他6名、出身国5カ国)

明光高校

5月13日(金)(アメリカ・中国・ネパール・ロシア)

6月3日(金)(ロシア)

全16クラス 参加者 80名

生涯学習財団市民大学国際交流講座に講師派遣

10月21日(木)ネパール、10月28日(木)中国、11月4日(木)ロシア、

11月11日(木)アメリカ、11月18日(木)ネパール、11月25日(木)中国、

12月2日(木)ロシア、12月9日(木)韓国

全8回 参加者 30名

III 受託事業(横須賀市)

(1) 国際協力支援事業

① 外国人生活相談

横須賀に在住・在勤する外国人が、生活の場で出会う文化・風俗習慣・言葉などの相違による悩み、問題などの相談に応じた。4名の相談員が曜日を決めて対応。相談件数183件
国別では、フィリピン59件、タイ43件、ペルー25件、日本15件、ニカラグア9件、韓国・朝鮮7件、ブラジル7件、中国6件、アメリカ4件、コロンビア3件、パキスタン2件、ロシア1件、バングラディッシュ1件、国籍不明1件

・10月5日(水)生活相談勉強会:「外国籍の方の年金について」

参加者 8名

・12月13日(火)生活相談交流会:「あつまれ!お母さん!~どうですか?日本での子育て~」

参加者 16名

② 日本語会話サロン

横須賀市に在住・在勤・在学する外国人を対象に、日常生活に必要な日本語会話能力を高めるため、会話サロンボランティアの協力のもとに、年間で351回の教室を開き、受講者の参加延べ人数は3,101名だった。

- ・日本語指導講座（入門編）：5月29日・6月5日・6月19日（日）（加えて、課外体験として2回程度の会話サロン見学） 講師：坂内泰子氏 小島佳子氏 参加者34名
- ・指導者交流会：11月24日（木）
第1部：横須賀国際交流協会外国人生活相談事業執行責任者より外国籍の方が利用できる公的補助制度について
第2部：意見交換（テーマ：日本語会話サロン活動の際の疑問、悩みなど） 参加者12名

③ 外国籍市民防災啓発事業

災害時に「要援護者」となる外国籍市民を支援するため、横須賀市の関係部署との連携により市内在住の外国人に対して災害支援活動を実施した。

- ・ジャパン フェスティバル（総合福祉会館）11月6日（日） 参加人数87名（内外国26名）
- ・外国人のための防災講座と非常食試食会（ヴェルクよこすか） 2月18日（土）
参加者27名（内外国人9名）

(2) 国際協力交流事業

① キッズ・フェスティバル

日本人と外国人の子供たちが集まり、ゲームや仮装コンテストなどを行なった。家族で参加する、協会唯一の子どもの行事である。

10月10日（日）（ヴェルクよこすか）

参加者205名（内：外国人参加者45名、外国人ボランティア4名）

② 日本文化体験教室（JFY）年3回開催

流派・教室・家元等の制度を越えて日本文化を紹介するグループが、横須賀市及び近隣に在住・在勤・在学する市民および外国人を対象に体験教室を3回開催し、この内1回は、「ジャパン フェスティバル」の要素を取り入れ、日本人と外国人の交流に重点を置いたイベントとして開催した。

- ・日本文化体験教室

生け花・折り紙・着物・書道・茶道・日本舞踊・琴・三味線/大正琴の8部門

第1回：6月18日（土）

参加者384名（内：外国人234名、日本人47名、ボランティア他103名）

第2回：11月6日（日）第22回ジャパン フェスティバル イン よこすかと合同開催

参加者1,314名（内：外国人598名、日本人438名、ボランティア他278名）

- ・第22回ジャパン フェスティバル イン よこすか

ステージ：和太鼓、ちんどん屋、武道（空手）、日本舞踊、ポリネシアのダンスと音楽、第7艦隊バンド、ゴスペル、サリヴァンズスクール合唱団、諏訪小学校の踊り、サリヴァンズスクールと諏訪小学校によるジョイントコンサート

展示：横須賀の歴史、つるし雛、防災コーナー、姉妹都市交換学生事業、日本語会話サロン紹介コーナー

体験：日本文化体験教室8部門の他に囲碁、甲冑隊、武道（空手）、パッチワーク・キルト、遊びコーナー（手作りおもちゃ、日本のあそび、独楽、けん玉）、絵手紙、和太鼓、ポリネシアのダンスと音楽

第3回：3月4日（土）

参加者 426名（内：外国人 221名、日本人 114名、ボランティア他 91名）

・随時、湘南国際村、米軍基地、日本語会話サロン、姉妹都市交流などからの依頼に対して、体験希望者の受け入れや講師の派遣を行った。

（3）国際協力啓発事業

① 国際ユースフォーラム

青少年の国際理解を深めると共に相互交流を推進するため、横須賀市に在住、在学する日本人及び外国人の高校生など、青少年を対象にスピーチとスキットを中心とした発表によるフォーラムを開催した。

・8月2日（火）ヴェルクよこすか 6階ホールで開催

第一部：姉妹都市と横須賀市の交換学生によるプレゼンテーション、スピーチ

第二部：交流会

スピーチのレベルは年々向上し、横須賀市交換学生OB・OGの積極的な運営参加の姿もみられた。

参加者 52名（内：外国人発表者 6名）

（4）姉妹都市交換学生派遣・受入事業

① 交換学生の派遣

夏休みの期間中、約2週間、姉妹都市交流のあるコーパスクリスティ市（アメリカ）、ブレスト市（フランス）、フリマントル市（オーストラリア）の各都市に各々高校生2名、計6名を交換学生として派遣した。

派遣学生は国際理解を深めるとともに、姉妹都市との交流を通じて、姉妹都市やその国々との相互理解、友好関係を深め、ひいては、国際平和に資することを目的とし派遣した。

横須賀市の親善大使として、ホームステイをしながら交流を深め、横須賀や日本の文化、魅力を各姉妹都市に発信するとともに、姉妹都市の文化、魅力を学び、横須賀市民に伝えることを今後の課題として活動を行なった。

② 交換学生の受入

夏休みの期間中、約2週間、姉妹都市交流としてコーパスクリスティ市（アメリカ）1名、ブレスト市（フランス）2名、フリマントル市（オーストラリア）2名 高校生計5名を交換学生として受け入れた。 受入家庭（4家族）

姉妹都市の高校生が横須賀市で生活することによって、日本文化、横須賀の文化に触れると共に各自国の文化を紹介してもらい、帰国後は横須賀市を広く紹介してもらう。

又、ホームステイ受入の家庭には、姉妹都市の高校生との生活を通して多文化共生を体験し、市民レベルの国際交流の担い手となっていただけるようお願いした。

・姉妹都市交換学生プログラム写真展

3月10日（月）～4月15日（金） モアーズシティ

9月12日（月）～9月29日（木） モアーズシティ

IV その他の事業

今年度は、その他の事業（収益事業）に係る活動は実施しておりません。